

葛飾特集

葛飾地区理大祭

今年の目玉イベントは？

電撃取材

突撃取材

KARF委員長に聞いた 葛飾地区理大祭

KARFは総務局と広報局、企画局の3つの局に分かれています。総務局は内部の総括や出店希望団体の把握を行い、広報局は協賛集めやパンフレットの制作などを行っている。また、企

画局はサイエンス夢工房やクイズ大会などの企画を準備を進めている。どの局も協力しながら葛飾地区理大祭をより良いものにするために注いでいる。今回、その実行委員長

を務める清水直貴さん(T E科3年)に話を聞いた。

今年の葛飾地区理大祭は地域との連携を目指していた。プロジェクトメンバーは、ピンクなどの企画により、一般客の動員はとも良い結果を残した。清水さんは今年目標として、学生を多く呼び込むことを挙げた。これまでに積み上げてきた地域との繋がりを生か

したまま学生の参加を促そうと考えた。具体的にはTwitterの更新回数や学生向けの企画を増やした。さらにTVでなじみがあり、学生への認知度も高いお笑い芸人の江頭2・50さんをゲストとして呼ぶことになった。

理大祭に向けて準備を進める清水さんに最も大変だったことを聞くと、葛飾地区理大祭の目玉企画の一つであるプロジェクト



▶昨年の葛飾地区理大祭の様子。KARF提供

度、多くの新

入会員に恵まれたKARF

の幅を広げようとしている。「今年度の会員は90人。一人一人が責任を持ち、大学外部との連絡も含めて準備を行っています」と清水さんは語った。

理棟前の中庭広場で行われるのは江頭2・50さんによるトークショーである。多くの学生を引きつけるそのパワーに、KARF委員長の清水さんは期待を寄せる。開始時刻は午後2時50分ではなく午後2時なので、注意が必要だ。

さらに今年度、多くの新入会員に恵まれたKARFは企画の幅を広げようとしている。「今年度の会員は90人。一人一人が責任を持ち、大学外部との連絡も含めて準備を行っています」と清水さんは語った。

人気のあった「サイエンス夢工房」や「フリーマーケット」に加え、教室を別世界に変えてしまおうという「脱出ゲーム」、葛飾地区理大祭の新マスコットキャラを決める「キャラコン」、そして理科大で一番教養ある者を選抜するクイズ大会「理科大王」といった新企画が予定されている。

理大祭当日、理科大は「理科大」でなくなる。そこには、足早に商店街を通り過ぎる学生はいない。レポートに追われる学生もいない。キャンパス正面のスロープを上がれば、昨日までの「理科大」は、祭一色に染まっている。

講義棟と研究棟の間に軒を連ねるのは、サークル団体や研究室の学生や教員のブースである。葛飾地区理大祭実行委員会(KARF)委員らの声かけもあって、例年より多

くの出店が見込まれている。「理科大」のキャンパスとは異なった表情を見せてくれるだろう。

9月22日、葛飾キャンパスと金町駅をつなぐ理大通りに「麺や月星」が開店した。開店直後の2日間はキャンペーンも

木さんにとっては初めてのラーメン屋の経営であった。葛飾キャンパス完成後は学生からも愛され、駅前区画整理をきっかけに、大学により近い現在の店舗へ移転した。

麺や月星はお手頃な価格で美味しいメニューを提供する。鈴木さんのおすすめはつけ麺と油そばだ。看板メニューでもあるつけ麺には、通常のつけ麺と肉つけ麺、辛つけ麺の3種類がある。

つけ麺は790円、学生は学生証提示で100円の割引がされる。

鈴木さんの一番の情熱は安くておいしいものを作ることだ。高い金額を払っておいしいものを食べることは簡単である。お手頃な値段で、より多くの人に



おいしい料理を提供することに、鈴木さんはこだわりを持っている。

金町駅の周辺に位置するラーメン屋は多い。そんな金町駅で一番の味を目指したいと鈴木さんは語った。

(定休日：毎月1日/営業時間：11時30分～15時30分/17時30分～23時/住所：葛飾区東金町1-11-4/席数：10席)

限定期間に学生証の提示をお願ひし、必ず※切り取って頂く必要があります

理科大生限定
限定期間
麺や月星
味玉
1個無料
11/30まで



chumは、約110人で活動するアカペラサークルである。理大祭当日には4〜7名のバンドに分かれ、教室や中庭広場でライブを行う予定だ。昨年は地域住民を中心に、大教室に100人以上が集まった。教室の周りで歌声が響き、ふらっと訪れる人も多かったという。

「皆、歌を楽しみたいとマッピングを挙げた。また、資金繰りや町の人の作業負担の仕方などで問題が浮上り大変だったそうだ。数々の困難を乗り越えて完成する葛飾地区理大祭に期待したい。」

chumは、約110人で活動するアカペラサークルである。理大祭当日には4〜7名のバンドに分かれ、教室や中庭広場でライブを行う予定だ。昨年は地域住民を中心に、大教室に100人以上が集まった。教室の周りで歌声が響き、ふらっと訪れる人も多かったという。

「皆、歌を楽しみたいとマッピングを挙げた。また、資金繰りや町の人の作業負担の仕方などで問題が浮上り大変だったそうだ。数々の困難を乗り越えて完成する葛飾地区理大祭に期待したい。」



▲過去の図書館ホールでのライブの様子 = chum 提供

ご存じでしたか？ 『目盛線を数える必要が無く、目盛値を直感的に判読出来る』 23&78[®]目盛

当工房では、このような新たな目盛の開発を行っています。応用範囲はメスシリンダー、定規、三角スケール、工作機械目盛環、シリンジ、丸形温度計、操作パネルなど広範囲。現在それぞれの商品化を検討しています。

ニイサン ナナハチ[®]

川島工房 北海道余市郡赤井川村字赤井川191-1
kawashimakobo2013@docomo.ne.jp

*目盛線の切欠きで液面も視認しやすい。 P A T . P